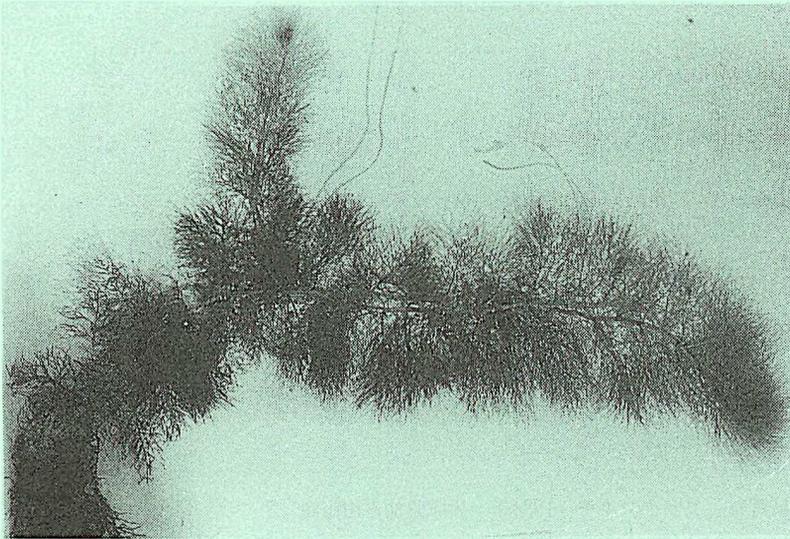


ISSN 0288-139X

水草研究会会報

52号 (1994年4月)



Bulletin of Water Plant Society, Japan

No. 52 (Apr. 1994)

水草研究会

目次

加崎英男：絶滅の危機にあるホシツリモ 1

田中俊雄・野口順子：京阪神地域で生育するオオカワヂシャとカワヂシャについて 5

高田 順：秋田県のホシクサ属 (Eriocaulon) 植物
—秋田県植物分類ノート V—16

短報 土屋 守：茨城県笠間市のトウゴクヘラオモダカ30

星 一彰：福島県岳温泉大和溜池のウカミカマゴケについて31

他

〔表紙写真〕フサタヌキモ 1984年 兵庫県加古川市産

フサタヌキモはタヌキモ類の中でもきわめて稀な種類である。平地の水域に生育するため開発や水質汚濁の進行で産地が次々に失われ、このままでは第二のムジナモになることは必至であろうとの危惧があった。最近ではフサタヌキモの確実な自生地は、2～3ヶ所に減少していた。珍品であるため公表すると絶滅を促進する恐れがあると、産地は伏せられていた。しかし、ここ2～3年の間に、それらの産地から相次いで消滅の報が入った。危惧は現実となったのではなかろうか。

フサタヌキモの産地について情報をお持ちの方は、ぜひ現状を調べていただきたい。まだ自生地が残されているのかどうかを早急に明かにする必要がある。保全のために、もう時間の猶予はない。水草研究会としても何かできればと考えている。

(写真と文 角野康郎)